



ノーコード宣言シティー 宣言書

山口県萩市は、プログラミングの専門的な知識や技術がなくてもアプリケーションやWebサービスの開発（以下、「アプリ開発」という。）ができる「ノーコード」技術を活用し、住民サービスや自治体業務の改革を推進することで新しい価値を創造し、地域の魅力向上と課題解決を図り、デジタル田園都市国家構想の実現に貢献する自治体となることをここに誓います。

①ノーコードによる地域社会への貢献

ノーコード技術を活用することで、行政手続きのデジタル化を促進し、より高品質な住民サービスの提供を目指します。

②ノーコード人材の育成

職員自らがノーコード技術の活用を学び、住民サービスや自治体業務の改革を推進します。また地元企業のニーズに応えるノーコード技術の活用をサポートすることで、地域全体のデジタル競争力強化を目指します。

③アプリ開発の迅速化とコスト削減

職員自らがノーコードによるアプリ開発に取り組むことで、そのプロセスの迅速化とコスト削減を目指します。

④ノーコードによる職員の働き方改革

ノーコードによるアプリ開発を推進することで、職員の業務効率化とワークライフバランスの向上を目指します。

⑤ノーコード宣言シティーのアピール

ノーコード活用事例を積極的にアピールし、デジタル田園都市国家構想の実現に貢献する自治体となることを目指します。

2024年10月30日

山口県萩市
市長 田 中 文 夫

上記の自治体が「ノーコード宣言シティー」を宣言されたことを証明します。

2024年10月30日

一般社団法人
ノーコード推進協会
代表理事 中山 五輪男

